

「軟部肉腫の発生部位による遺伝子的差異の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2019年1月1日～2025年10月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科を受診し、がんゲノムプロファイリング検査を行った軟部肉腫で20歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ヒトゲノム配列の解明と次世代シークエンサーの開発でがんゲノム研究は大きく進展しており、現在では多数の遺伝子を一度に検査するがんゲノムプロファイリング検査が行われるようになっています。また一方で当科の先行研究で軟部肉腫の遠隔転移は発生部位（浅層/深層）で異なり、浅層はリンパ節、深層は肺転移の割合が高い傾向があることが判明しています。しかしその傾向が、発生部位と遺伝子的差異のいずれに起因するものなのかは不明です。

本研究の目的は当科でがんゲノムプロファイリング検査を行った軟部肉腫症例の発生部位（浅層/深層）による遺伝子的差異を検討することです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

臨床情報：診断時年齢、性別、初診日、診断日、初診時状況、既往症、病理診断、発生部位、手術方法、がんゲノムプロファイリング検査以前の化学療法、がんゲノムプロファイリング検査に

による遺伝子変異、がんゲノムプロファイリング検査結果による治療内容、最終観察日
予後：最終観察時転帰

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科、研究責任者である鳥越知明が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

がんゲノムプロファイリング検査を行った軟部肉腫の患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科・整形外科 鳥越知明（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明

住所：350-1298 埼玉県日高市山根

電話：042-984-4111：内線 5587（毎週木曜日 13:00～15:00）

○研究課題名：軟部肉腫の発生部位による遺伝子的差異の検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明